

天気予報

災害に注意

防災訓練

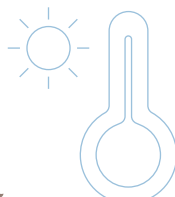
8つのサービスで

より安心して
豊かな毎日を



発話する警報器

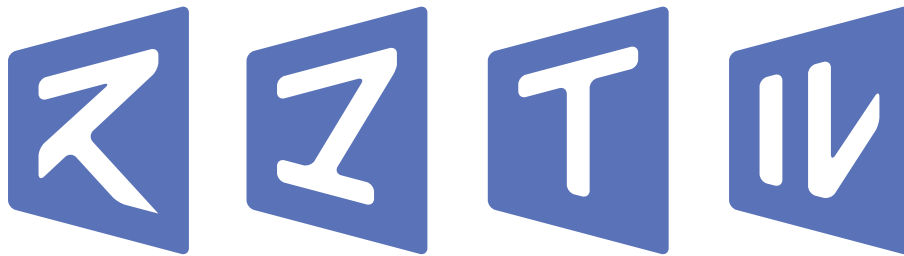
しゃべりお
XW-755



熱中症注意喚起

ガス漏れ・CO通知

世界中のガス事故をなくし、世界中の人を笑顔にする



通信

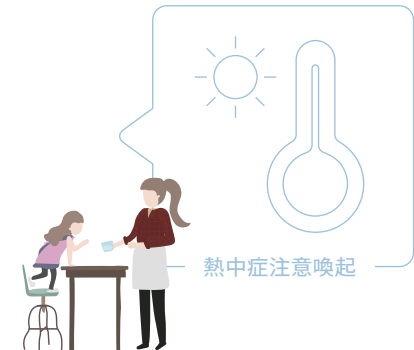
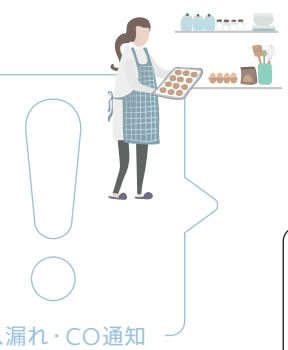
vol.7

第64期(2022.4.1-2023.3.31)



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

ガス事業者からの
お知らせ



トップメッセージ

「中期経営計画2022-2024」の初年度は、 計画を達成することができました

代表取締役社長

高橋良典

Yoshinori Takahashi



新型コロナウイルスが5類感染症へ移行となり、いよいよ日常が戻りつつあります。とはいえ、世界を震撼させた新型コロナウイルスが残した影響は大きく、さらに不安定な国際情勢は未だ続いている状況です。

前期より皆様にご迷惑をお掛けしていた部品不足による減産および長納期化については、完全に解消されてはおりませんが改善傾向にあります。ユーザー様、取引先企業様へはご迷惑お掛けしていることをお詫び申し上げますとともに製品供給の正常化に向け引き続き努力をしております。

私たちの目指す姿

新コスモス電機グループは、「センシング技術とサービスで世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」を使命に掲げ、ガスセンサの研究開発をコアとし、それらを搭載したガス警報器・ガス検知器を世界中にお届けしています。

2022年度は、パリ事務所の開設や中国子会社の工場建設、さらには台湾事務所の現地法人化を発表するなど海外展開に動きがありました。また、2025年完成予定で本社敷地内に新しいセンサ工場を建設することも発表いたしました。「中期経営計画2022-2024」の3年間はこの先の飛躍を見据えた準備・投資期間と位置付けておりますが、初年度は概ね計画通り進めることができました。

中期経営計画 2022-2024



定性目標

「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す



定量目標

売上高
2024年度

450 億円以上

海外売上高比率
2024年度

40 %以上

営業利益率

12 %以上を目指す

2022年度の成果

2022年度は、世界的な部品不足により製品供給が滞るなどの影響があったものの、当社グループは増収で終わることができました。利益に関しても、新工場建設に伴う特別損失の影響で当期純利益は前期比微減となりましたが、営業利益および経常利益については、前期を上回る結果となり、計画を達成することができました。これもひとえにユーザー様、取引先企業様、株主様、協力会社様、そしてグループの全従業員のおかげです。心より感謝申し上げます。

内容としましては、家庭用分野では2021年度に引き続き海外市場での電池式メタン警報器が好調であったことに加え、国内の都市ガス用ガス警報器の販売も好調に推移しました。産業分野では、国内のLPガス、石油ケミカル、自動車、土木建築向けが好調で、さらに2021年度に引き続き海外のエレクトロニクス業界向けの定置式ガス検知警報器の販売が好調でした。その結果、売上高は372億6百万円と前期比8.4%の増収となりました。利益につきましては、世界的な部品不足の影響によるコスト増の影響が予想を下回ったことやウィズコロナの下で営業活動が戻ってきたものの先行きの不透明さに備えた経費削減の取り組みを実施した結果、営業利益は56億9千3百万円と前期比4.8%増となりました。また、為替差益等により経常利益は62億6千9百万円と前期比3.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益は新工場建設に伴う特別損失により37億3千6百万円と前期比1.0%減となりました。

2023年度の見通し

経済活動の正常化が進む中、国内の景気や企業の設備投資は持ち直しつつあるものの、エネルギー価格や物価の上昇、供給面での制約等により世界情勢は依然として先行きが不透明な状況が続いています。このような中、2023年度の計画は、売上高412億9千4百万円、営業利益47億8千万円、経常利益50億1千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は28億6千2百万円としております。グループ一丸となりこの計画達成に取り組んでまいります。

株主還元

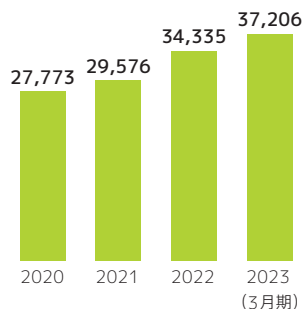
当社の株主還元の基本方針は、「業績ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案して安定的かつ継続的な配当を行うこと」です。株主還元は年に1回配当金での還元を行っており、2022年度につきましては37円の配当予想としておりましたが、業績が予想を上回ったことから10円増配し47円の配当を行います。2023年度についても47円の配当を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後も当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

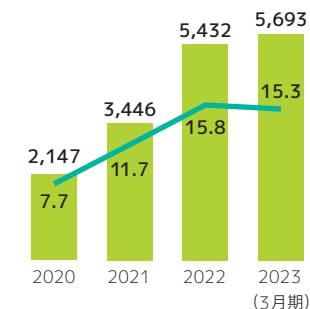
業績ハイライト

■ 売上高 (百万円)

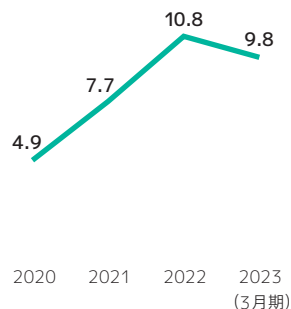


■ 営業利益 (百万円)

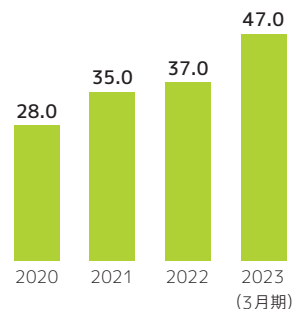
— 営業利益率 (%)



— ROE (%)



■ 1株当たり配当金 (円)



セグメント別の成果

業務用携帯型ガス検知器関連

携帯型ガス検知器は、爆発事故防止や酸欠・中毒事故防止のため、ガスを扱うあらゆる現場で使用されています。小型・軽量化や通信機能を搭載したものなど作業者の使いやすさを考慮して開発しています。



マルチ型ガス検知器



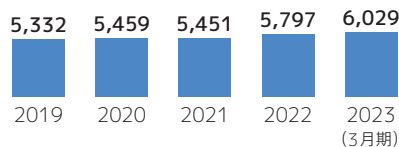
酸素・一酸化炭素計



携帯用ガス検知器

●売上高推移

(単位：百万円)



6,029 百万円 +4.0 %

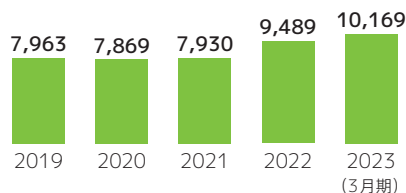
▶自動車業界や石油業界、土木建築業界向けガス検知器の販売が好調に推移し、売上高は60億2千9百万円(前期比4.0%増)となりました。

工業用定置式ガス検知警報器関連

LNG・LPG基地、石油化学プラント、半導体製造工場、水素ステーションなどガスを扱う現場では、安全管理が不可欠です。お客様のニーズにお応えするため、ガス検知部と警報器が一体型になったコンパクトなものから数千点のガス検知部を監視する大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案しています。

●売上高推移

(単位：百万円)



10,169 百万円 +7.2 %

▶国内のLPガス、化学向けならびに国内外のエレクトロニクス業界向けガス検知警報器の販売が好調に推移し、101億6千9百万円(前期比7.2%増)となりました。



無線ガス検知部



一点式ガス検知警報器



その他

ニオイの強弱を数値化する「ニオイセンサ」、換気扇の運転をコントロールして冷暖房の省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どちらもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。



ニオイセンサ



換気扇コントローラ

家庭用ガス警報器関連

ご家庭の台所で万が一のガス漏れや不完全燃焼により発生する一酸化炭素を検知してお知らせする家庭用ガス警報器や、リビングや寝室などで火災による煙や一酸化炭素を検知してお知らせする住宅用火災警報器を展開。熱中症になりやすい環境や空気の乾燥をお知らせする機能を搭載した商品やインターネットとつないでご家族の見守りを可能にした商品などラインナップを充実させています。

51.1
%



【電池式 都市ガス用】
住宅用火災・ガス・CO警報器



【快適環境おしらせ】
【LPガス用】ガス・CO警報器

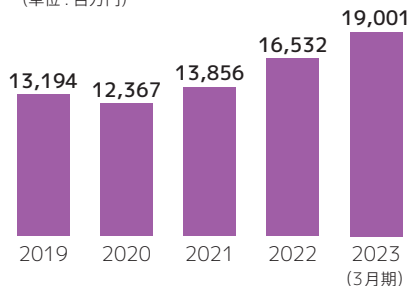


一酸化炭素検知機能付き
火災警報器



● 売上高推移

(単位：百万円)



19,001
百万円 +14.9
%

▶ 国内市場および海外市場において警報器の販売が好調に推移し、売上高は190億1百万円(前期比14.9%増)となりました。

特集：私たちの事業とSDGs

2022年に策定した中期経営計画では、戦略の一つとしてサステナビリティ戦略を掲げました。これまで同様にガスセンサ・ガスセンシング技術を通じ「安全・安心・快適な環境創り」に貢献するとともに、今後はさらにSDGsへの取り組みをはじめとしたカーボンニュートラルへの対応などを推進。持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続可能な企業価値の向上を目指しています。



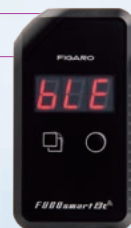
安全・安心で、持続可能な社会づくりに貢献します

- ガスセンサ・ガスセンシングによる危険予測・予知により、事故の未然防止や働く人の安全確保に貢献します。
- 交通事故減少に貢献するため、アルコール検知器事業を推進します。

アルコール検知器の提供を通じ飲酒運転事故撲滅に貢献します

毎年国内で100人以上^{*}の方が飲酒運転による事故で犠牲になっています。酒気帯びの有無の確認にはアルコール検知器が有効であるとされ、道路交通法の改正により従来の緑ナンバー車に加え、白ナンバー車を5台以上保有する事業者等へアルコール検知器によるチェック義務化の範囲が拡大しました。アルコール検知器の積極的な拡販で飲酒運転事故撲滅に取り組んでいます。

※出典：警察庁WEBサイト『みんなで守る「飲酒運転を絶対にしない、させない」』



アルコール検知器
「フーゴシリーズ」



快適ウォッチ

熱中症による事故を減らすため、熱中症の危険をお知らせする製品を提供

地球温暖化による気温上昇に伴い、昨年の熱中症による救急搬送者数は国内で7万人^{*}以上となるなど、年々増加傾向にあります。熱中症の発生場所は住居が最も多く、室内における対策が重要です。当社では熱中症の危険のある環境をお知らせし水分補給などの対策を促す機能を搭載した家庭用ガス警報器を開発。熱中症による事故低減に取り組んでいます。

※出典：令和4年10月28日消防庁発表「令和4年(5月から9月)の熱中症による救急搬送状況」

CO₂排出削減に取り組むとともに、社会のカーボン量削減に貢献します

- グループの事業活動におけるCO₂排出量削減に取り組みます。
- CO₂センサやCO₂モニタリングシステムの販売を通じて、社会のカーボン量削減に貢献します。

冷暖房の効率を上げ、CO₂排出量削減に貢献

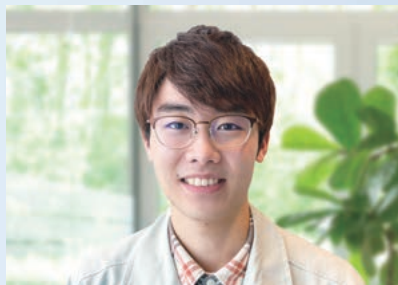
快適な室内環境のためには換気が有効ですが、過度な換気は冷暖房の効率を下げてしまうことが課題でした。換気扇コントローラは、空気汚れを検知して換気扇の運転を制御。必要な時だけ換気することで冷暖房の効率を上げてCO₂排出量削減に貢献します。年間平均約1,000台程度を販売し、学校やオフィスビルなどで活用いただいています。



換気扇コントローラ



調達から廃棄までを考慮し、持続可能な循環型の生産を目指します



センサ本部 センサ工場
南地 亮吾

- 製品ライフサイクルを通じて、廃棄物の発生減少や再利用に取り組みます。
- 当社製品に使用される化学物質を適切に管理し、情報開示できる体制の構築に取り組みます。



製品ライフサイクルを意識し、廃棄物削減に貢献

当社の半導体材料ガス検知部PS-7は、センサユニットをお客様自身で交換できる点が大きな特長です。様々な半導体材料ガスが検知できる上、校正済みでお客様のお手元にお届けするので、現場校正が不要でコストを大幅に削減します。そして製品ライフサイクルを意識して、古いセンサユニットは当社がお引き取りすることでお客様の廃棄物削減に貢献するとともに、そのセンサユニットの中から再生可能な部材については再利用をすることで、製品ライフサイクルトータルでの廃棄物削減にも取り組んでいます。今後もこのような取り組みを継続して実施していきます。

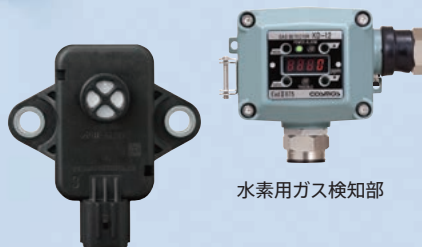


センサユニット交換方式
半導体材料ガス検知部



クリーンエネルギーの 安全な利用に貢献します

- 水素やアンモニアといった脱炭素の取り組みに寄与するエネルギーの安全利用を、ガスセンサ・ガス警報器を通じてサポートします。



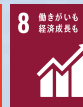
水素用ガス検知部

トヨタ「新型MIRAI」搭載
車載用水素ディテクタ

全国にある水素ステーションの約8割に当社の水素検知器が設置されています

多様な働き方を推進し、働きがいの向上に取り組めます

- 大切な人的資本である社員への教育・訓練・福利厚生(健康)などを通じた投資を拡大・強化するとともに、働き方の多様化に対応した制度や設備の充実をはかり、個人個人の働きがいと生産性の向上に取り組めます。
- グローバル企業として、国際規範に沿ったガバナンスの強化に取り組めます。



Vol.7

アメリカでのガス事故防止に 貢献しています

FROM U.S.A



日本でエネルギーとしてガスが普及し始めた1960年頃には、ご家庭でのガス爆発事故が多発していました。ガス機器の安全性能の向上やガス警報器の普及などを背景にガス爆発事故は減少し、特に死亡事故はここ数年0~1件となっています。しかし世界に目を向けるとガス爆発事故は一般家庭を含む様々な場所で発生しており、深刻な課題となっています。

アメリカではガス配管の老朽化によるガス漏れが増加しており、2014年にニューヨーク州でマンションのガス爆発事故が発生し、多くの死傷者を出しました。これをきっかけに、エネルギー事業者のCon Edisonが当社の電池式メタン警報器を採用。2019年から設置を開始し、既に多くのガス漏れを検知しています。2025年までに37万台以上を設置する予定で普及を進めています。

さらに、2023年秋頃にはメタン警報器の新製品を発売予定で、ホームセンター等での販売を開始します。より一層アメリカ全土でのガス事故防止に貢献していきます。

当社の電池式メタン警報器は、高い検知性能に加え寿命が長く、低コストで導入できる点が強みです。今後はアメリカだけでなく同じように配管の老朽化により事故が多発しているヨーロッパや、ガスが普及し始めている東南アジアをはじめとした世界中の国々へ展開し、「世界中のガス事故をなくす」という大きな目標の実現に向け取り組んでまいります。



Con Edison採用
電池式メタン警報器



詳しくはこちらのウェブサイトへ

PLEASE CHECK!



オウンドメディア「コスモスマガジン」に、技術開発本部長とアメリカ現地法人CEOのアメリカ展開に関するインタビュー記事を掲載しています。ぜひご覧ください。



新商品紹介・トピックス

大阪市淀川区と包括連携協定を締結、火災警報器を寄贈

当社は設立以来本社を大阪市淀川区に構えており、日頃多大なるご協力をいただいている地域・社会の皆様にも少しでもお役に立てるよう子供110番への登録といった活動を行ってきました。そのような中、より一層自治体との連携を深め、地域課題解決に役立つ活動を行うため、2023年2月に淀川区と包括連携協定を締結しました。その一環として「一酸化炭素検知機能付き火災警報器 PLUSCO (プラシオ)」を300台寄贈し、区民の希望者に配布していただきました。今後も、安全・安心への取り組みや、保安に関する教育など地域課題解決につながる取り組みを行ってまいります。



PLUSCO (プラシオ)

パリ事務所を開設しました

2023年2月にフランスパリ市内にパリ事務所を開設しました。現在取り組んでいる中期経営計画では成長戦略の一つとしてグローバル展開の推進を掲げており、この度の開設はその一環です。現在アメリカで展開しているMEMSセンサを搭載した家庭用メタン警報器のフランスでの展開を視野に入れた活動を行うとともに、フランスを中心にヨーロッパ地域における半導体市場や水素市場に向けた活動を行ってまいります。

パリ事務所の概要

所在地	43 RUE DU LIEGE 75008 Paris 8
所長	長井 孝行
事業内容	ヨーロッパにおけるガス警報器の市場調査
開所年月日	2023年2月9日
従業員数	2名


開発種話 vol.7 『ネットワーク機能付き家庭用ガス・CO警報器「しゃべりお」』 ～新しい挑戦の連続でした～

「しゃべりお」はネットワークと人感センサを活用し、気象警報や天気予報を発話するなど、スマートで豊かな生活を実現する家庭用ガス警報器です。従来製品との大きな違いは、人感センサを搭載している点です。熱の移動量の変化を感知する原理の人感センサを採用しているため、暖房機器の風や掃除ロボット、ペットやカーテンなど、設置場所である台所の様々な状況を想定し、人が接近した時に正しく感知できるように感度を調整する点に苦労しました。またネットワーク上の音声データを警報器で発話させるため、警報器に内蔵の警報音声の音質と合わせている点についてもこだわって設計しました。

今後も新たな価値を提供するガス警報器を開発し、安全・快適で豊かな生活の実現に貢献してまいります。



技術開発本部 商品開発第一部
上野 泰正

 表紙で紹介しているのが、「しゃべりお」です

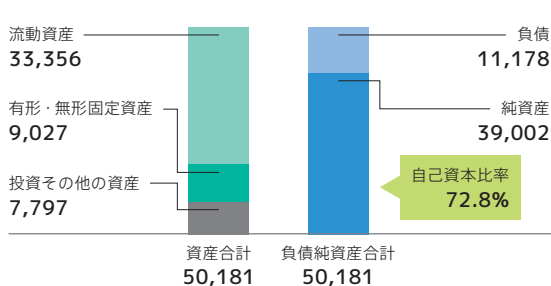


決算のポイント

連結貸借対照表の概要

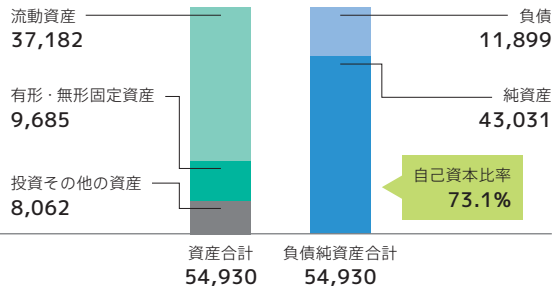
前期末 (2022年3月31日現在)

(単位:百万円)



当期末 (2023年3月31日現在)

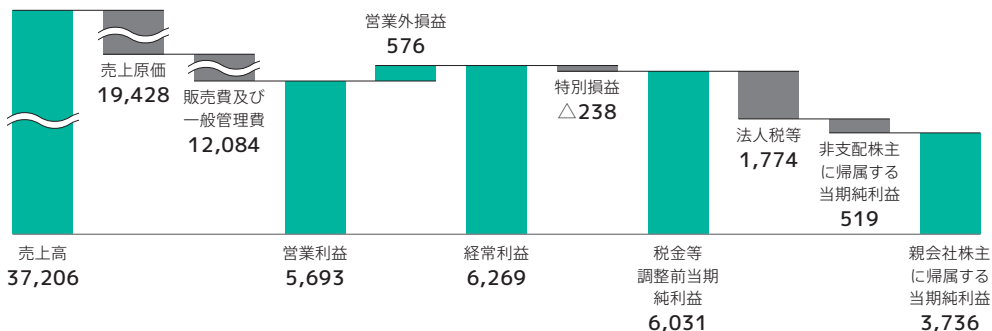
(単位:百万円)



連結損益計算書の概要

当期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)



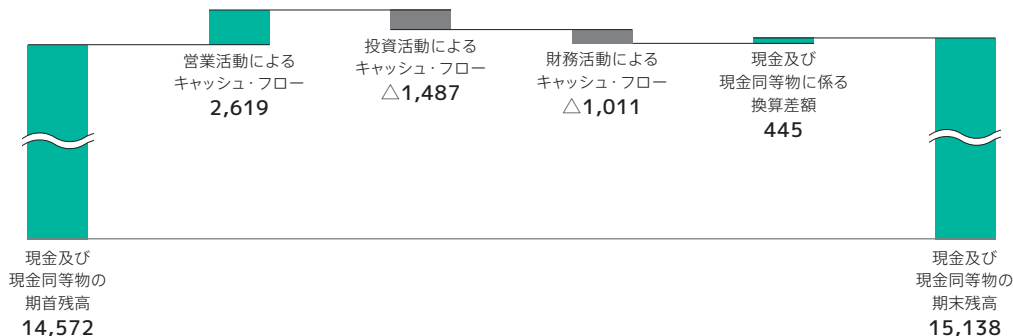
前期との比較

売上高は前期比8.4%増となりました。経常利益は前期比3.7%増、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1.0%減となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

当期 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)



前期との比較

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、投資活動及び財務活動において減少したものの、営業活動において増加し、前連結会計年度末に比べ566百万円増加して151億3千8百万円(前期比3.9%増)となりました。

会社概要・株式の状況

会社概要

(2023年3月31日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
本社	〒532-0036 大阪府大阪市淀川区三津屋中2-5-4
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	連結：906名、単体：451名
主要商品	家庭用ガス警報器 都市ガス警報器／LPガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器 等 工業用定置式ガス検知警報器 一点式・多点式ガス警報器／無線ガス検知部／濃度表示機能付きガス検知部／一体型ガス検知警報器 等 業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／酸素濃度計／毒性ガス検知器／複合型ガス検知器 等 その他 ニオイセンサ／換気扇コントローラ／鉄粉濃度計／ポータブルガス分析装置 等

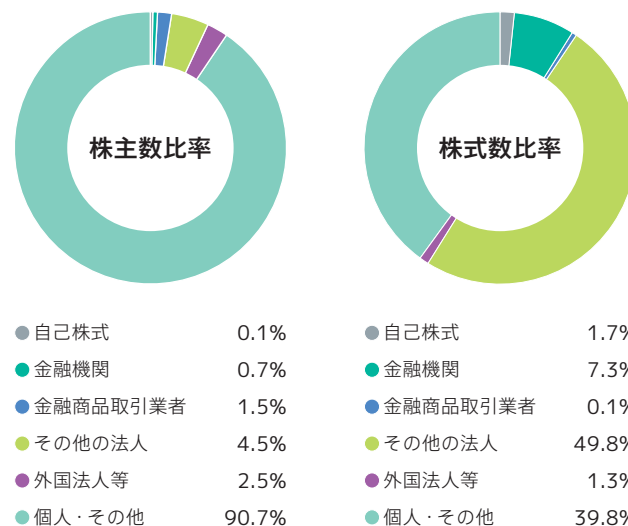
株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	12,561,000株
株主数	1,008名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
岩谷産業株式会社	3,452	27.96
新コスモス電機取引先持株会	577	4.68
有限会社アール・ケイ	572	4.63
笠原 美都子	475	3.85
新コスモス電機従業員持株会	472	3.83
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.12
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	326	2.64
リンナイ株式会社	251	2.04



(注) 1. 持株比率は自己株式(215,027株)を控除して計算しております。

2. 発行済株式の総数には自己株式(215,027株)を含んでおります。

企業理念

経営理念 —コスモス スピリット—

1. コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。
2. コスモスは、現状に満足することなく、常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。
3. コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、全員の衆智によって経営される。
4. コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と成長していく実践の場を与える。
5. コスモスは、常に価値ある商品を生み出し社会生活の向上に貢献する。

コスモスの使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主・自力・創造・執念・感謝」

株主メモ



証券コード：6824

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、官報に掲載します。 公告掲載アドレス： https://www.new-cosmos.co.jp/

- [ご注意] 1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いさせていただきます。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内) 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



みんなでシェアして、低炭素社会へ。
新コスモス電機株式会社は、Fun to Share!に賛同しています。